

新職員の昨年1年をふりかえって

西田 有美

矢田地域包括支援センター 介護支援専門員



2024年2月より矢田地域包括支援センターに配属となり、私がやりたかった相談支援業務につくことができ、楽しく仕事をしています。ふれあい共生会は、入職時の研修で細やかなところまで教えていただきました。色々な事業所がありますが、皆専門職として誇りを持っていることが素晴らしいと感じています。地域の方に寄り添った支援をこれからも頑張ります。

毛利 龍哉

矢田地域包括支援センター 介護支援専門員



私は矢田地域包括支援センターに入職し、約1年が経過いたしました。寄せられる相談の中には自分の人生経験や知識では対応が難しい相談内容がありますが、その都度諸先輩方からフォローアップをしていただくことで少しずつ成長出来ているように思います。今後も地域のために尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 優帆

特別養護老人ホーム 花嵐2階 介護職員



特養2階に配属されてから1年が経ちましたが、働いている際に不安に感じたり、自分自身の行動に自信が持てないことは今でもあります。それでも続けてこられたのは周りの先輩方のおかげだと思っています。日々、支えてくださっている先輩方には感謝しています。

花岡 亜友美

グループホーム つむぐ 介護職員



高齢部門は初めての経験ですが、利用者の皆様本当に優しくて素敵な方ばかりで、日々一緒に楽しく過ごさせていただいております。職員の方々と相談、フォローし合えるような関係で、入って間もない私を優しく受け入れていただき、ありがたい職場だと感じました。利用者様の安心、安全をもとに楽しく生活していただけるよう、日々頑張っていきます！

朱 穎芯

特別養護老人ホーム 花嵐2階 介護職員



入社後間もないころは介護する人とされる人といった関係でしかなかったが、日々の関わりの中で心を通わせる関係を築くことができたときはやり甲斐を感じました。利用者様の思いを受け止めることができるよう今後は利用者様の一言一言をしっかりと傾聴し、悔いが残らないようにすこせるよう支援したいと思っています。

山下 寧々伽

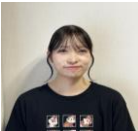
特別養護老人ホーム 花嵐3階 介護職員



介護の仕事は初めてで、大変でしんどい印象がありましたが、働いてみると利用者さんと関わる中で嬉しいことや楽しいこともあって、答えが一つではないから難しいし、大変だけどそれ以上に色々な考えて成長出来たり、日々やりがいのある仕事だと感じました。二年目では、今まで以上に利用者さんのことを考えて、変化に気づけるように頑張りたいです。

森 彩楓

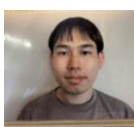
特別養護老人ホーム 花嵐3階 介護職員



私は一年間、認知症のご利用者の個性を理解しながら寄り添って介護をすることに難しさを感じ、またそこにやり甲斐も感じました。意思疎通が簡単ではない分、苦労するときもたくさんありますが、それ以上にご利用者に癒しや学びをもらえる素敵な仕事だなあと日々感じています。今後もご利用者またご家族の関わりを大切に、そしてご利用者の笑顔が少しでも増えるように頑張っていきたいです。

柿本 泰智

特別養護老人ホーム 花嵐4階 介護職員



入社して間もないころ、社会人1年目なのでこの先やっていけるのか不安な日々でしたが、先輩方のアドバイスを自分自身どう介護していくかを考え、自分なりの介護の仕方を身につけたと思います。今後は、より利用者さんがすこしやすいく介護をしていきたいと思っています。

これからのイベント予定

<12月>

7日(土)「ブックサンタ来所」



12日(木)「キーボード・尺八 演奏会」

15日(日)「特養家族会」

19日(木)「みんなのマルシェ」

21日(土)「ボッチャ大会」

26日(木)「古民家カフェ」

<1月>

13日(月祝)「もちつき」



ふれあい共生会 寄付のお願い

ふれあい共生会では、地域の祭りの開催や地域に新たに高齢者認知症グループホームを開設。地域交流スペース等を運営し地域福祉の向上に取り組む活動を行っています。これらの活動資金として皆様からのご寄付を受け付けております



【ご寄付の問い合わせ】
ふれあい共生会 法人本部 担当：佐藤
TEL 06-6699-1900

ふれあいだより



ピックアップ 人
研修報告
新職員1年をふりかえって

ピアノ弾き語りライブ～難波みちかさん～
みんなのマルシェ



発行日 2024年 11月1日
発行元 社会福祉法人ふれあい共生会 広報委員会
場所 大阪市東住吉区矢田3丁目16番8号



ピアノ弾き語りライブ 花未来プラザホール

2024年6月6日（木）花未来プラザにてシンガーソングライター・ピアニスト「難波みちか」さんによる『ピアノ弾き語りライブin花未来プラザ』を開催。

当日は、もくれんの利用者さん達による飾りつけによる手作りの会場でお迎え。飾りをご覧になられた「難波みちか」さんは、こんな暖かいお出迎えは初めてですと、感激されてのスタートとなりました。

披露された楽曲は、会場に来られた地域の方や、特養花嵐からも聞きに来られた方々にとって聞き覚えがあるだろう昭和歌謡をはじめ、「はなみずき」「花」千と千尋の神隠しの主題歌等々、途中のサプライズとして沖縄民謡を中心に活躍の三線奏者 新田開山さんの飛び入りでは、「海の声」や「ハイサイおじさん」で大いに盛り上がり、踊り出す職員がいたとかいなかったとか…

ライブ演奏はアンコールも含め80分近く、ふれあい共生会の入居者、利用者、職員、地域住民の方々のご来場により、立ち見も数えると100名超えの大盛況。最後は参加者を代表して、もくれんの利用者さん2名による感謝の気持ちを伝えるプレゼント贈呈で、「難波みちか」さんの涙腺が緩む場面となり、是非またお会いしましょうとの約束にて終演となり、参加された皆さまの記憶に残るイベントの1つになったことと思います。（伊木）

ユマニチュード研修の報告 特別養護老人ホーム花嵐

4月25日、高齢部門と障がい部門の職員合同にて報告研修を実施しました。内容はフランスで開発されたケア技法のひとつであるユマニチュードについて学び、その人らしく暮らせるケア、優しさが伝わるようなケアを目指すというものです。講師はユマニチュード研修を受講した職員3名が担当し、丁寧な説明に職員一同良い気付きを得たようでした。

より良いケアを目指してこれからも職員一同で頑張ります。（川畑）



ピックアップひと

地域貢献室 室長 柴田 好子

ふれあい共生会で長年勤務し現在、地域貢献室 柴田好子室長に、仕事への取り組みや地域に対する想いを語って頂きました！



Q ふれあい共生会で勤められて何年経ちますか？

A 矢田地域で31年、うち2000年の4月から24年ふれあい共生会で努めています。当初はパソコンがなく今より情報が手薄だった為、情報収集や関係機関との連携にとっても苦労しました。

Q これまで勤めてきて、やりがいを感じた時はどんな時ですか？

A ヘルパー時代は、支援していたご利用者の方に前向きな変化が見られたことです。地域貢献室では、自分が携わった地域のイベントを通して、参加者の方々に顔の見える繋がりを作れた事です。



Q 矢田地域への想いを教えてください！

A 自分が子どもの頃から、現在に至るまで矢田に住んでいます。“矢田で生まれて、住んで、学んで、働いて” きたので自分が地域の皆さんに育ててもらったと思っています。困ったとき行き詰ったときは「人事を尽くして天命を待つ」で乗り越え、仕事に対する誇りを持ち地域貢献・社会貢献に取り組んできました。

Q 最後に、ふれあい共生会へメッセージをお願いします！

A 法人理念にもある、“尊厳”という言葉が好きです。誰に対しても尊厳を大切にし次世代に繋ぐまで頑張りたいです。

柴田さん、インタビューへのご協力ありがとうございました！（山下）

みんなのマルシェ

生活介護 就労formマスタード 地域活動支援センターもくれん

2024年6月18日花未来プラザにて「みんなのマルシェ」を開催。法人の各部署からいろんな出店を行うのと同時に、地域の色々な団体の方も出店いただき、物販からカフェ、マッサージまでバラエティー豊かなマルシェ開催となりました。花未来ホールでは様々なイベントを実施しているのでこれからも地域の方が笑顔になる集まりを開催していきます！（羽室）



マルシェってなに？

マルシェはフランス語で「市場」という意味なんだって

